

日光明峰高等学校の取組

【特色】日光市社会福祉協議会をコーディネーターに、行政（日光市）、自治会（周辺4自治会）、小学校（安良沢小学校）、中学校（日光中学校）、民間団体（清風塾）、社団法人（交通安全協会）、二社一寺、NPO 団体（足尾に緑を育てる会）等と連携し、「学校×地域連携プロジェクト」として活動している。

取組事例

○継続的な活動

- ・常時行っているのは、安良沢小学校での読み聞かせボランティア、特別養護老人ホームへの福祉施設訪問・介護体験、福祉ボランティア、足尾植樹活動等である。
- ・生徒と交流したいという地域の方々からの声に、どのように応えるか検討するため、定期的に地域連携係が校内での話合いの場を設けたり、地域の方にも参加してもらう代表者会議を年に4回程度実施したりしている。

○「総合的な探究の時間 ESN

（Education for Sustainable Nikko）」

- ・自分たちの住むまちが、今後どのように変化していくかという問題の重要性を意識させ、地域課題解決に対する当事者意識を高められるようにしている。
- ・SDGs の説明について、日光市生涯学習課から指導してもらっている。

○郷土芸術の授業

- ・地域の方から「日光彫り」の指導を受けている。

○地域行事

- ・東照宮の例大祭へ参加している。

○サロン活動

- ・有志生徒を募って放課後に地域の方々と交流するサロン活動を行うなど、授業・行事にとどまらない形で学校の教育活動に組み入れている。
- ・伝統料理や地産地消メニューを地域の方から教えてもらい会食している。また、茶道のお点前体験や歌の交流会を実施するなど、交流を深めている。

地域活動による効果・成果

生徒の
変容

- 地域のいろいろな人と話をする中で「まちづくり」の視点を持ち、日光をよりよいまちにしていきたいという思いを強めた。また、郷土愛的な視点をもつ生徒が増えた。

学校への
効果

- 学校の情報を発信することで教育活動に対する地域の理解が深まり、地域の住民から声をかけてもらえる機会が増えた。地域の方々は、自分のまちの学校として関心をもってきている。

地域活動がうまく いっている要因

- ・学校運営協議会で意見や協力を募る等、地域との関係を密にすることが、地域住民等の学校運営への参画と教育活動等への支援の一体化につながっている。

活動しやすい環境整備の ポイント



- ・多くの生徒の活動参加を目標に全体計画を作成し、授業等でも活動することにより、生徒全員が地域活動に参加する、有意義な地域活動となる。
- ・学校の情報を紹介した「明峰だより」を配付して地域へ学校行事の情報を提供し、参加呼びかけ等を行うことにより、あらゆる年代や業種の地域住民に幅を広げた地域活動につながる。
- ・市やコーディネーターと相談し計画立案することにより、サロン活動を目的化することなく、生徒への教育的効果や地域への貢献を踏まえた地域活動につながる。